

障害者支援施設 伏野つばさ園

1 基本方針

ノーマライゼーションの理念のもと、すべての利用者の人権と尊厳を守り、自立した生活を地域社会で営むことを基本とし、個別支援計画に基づき、利用者の希望に沿ったその人らしい生活ができるよう支援する。

また、健康管理等に十分配慮しつつ、生産（就労）活動を通じて社会の一員としての役割を担い「自信と誇りを持って暮らせる」よう、障がい者の地域生活を支える。

2 今年度重点事業目標

(1) 作業班等の再編検討

ア 受託作業班、自主製造班の再編・移転等を継続して検討する。受託作業班は、班の統合・作業種の見直し・工賃支給方法の検討を継続して行う。自主製造班は中長期的な計画を立てると共に事業分割の検討を行う。パン工房・菓子工房の移転や新商品開発、喫茶の営業形態等も含めて具体化する。また、新規利用者の獲得も同時に行う。

イ 伏野つばさ園作業棟の改築・改装について検討を行い、さらに新しい体制整備を行う。合わせて、昼食提供の場所と厨房についても法人本部及び他施設と連携しながら計画を立て、実施を目指す。

ウ 生活介護事業は報酬改定後の対策を行うとともに、安定的な運営を目指す。働くことの喜びを得つつ、余暇活動や芸術活動、また、機能訓練を取り入れた活動を行い、潤いのある日中活動を提供する。

エ はまなす作業所の安定的な運営を図りながら、本体との連携を強化する。

(2) 新施設移行3年目の安定的な運営

働くこと、暮らすことについて検証し、改善すべき点は改善し、生活支援、日中活動、余暇活動を充実する。

また、報酬改定後の対策を行うとともに、施設入所支援、就労継続支援B型、生活介護、短期入所の事業内容を情報発信し、関係機関と連携しながら新規利用者の受入を行い安定的な運営を図る。

(3) 工賃の目標

ア 自主製造作業・施設外就労については利用者の確保、職員の育成を行い、販路拡大、技能の向上を図り、収入アップを目指す。

イ 作業にかかる光熱水費、燃料費等、経費の削減に努め、配分工賃の増額を確保する。

自主製品の販路を確保し、新商品開発と共に安定供給が出来るよう努める。

ウ 工賃支給方法については引き続き検討・検証を重ね、利用者それぞれの能力に応じた工賃を支給できるよう考慮する。平均工賃15,000円以上を目指す。

(4) 利用者支援の充実

ア 本人のニーズ、アセスメントに基づいた個別支援計画を作成し、PDCAサイクルにより、目標達成に向けて支援する。

イ 嘱託医、協力医療機関と連携し、各種検診を実施し成人病等の早期発見・治療につなげ利用者の健康維持に努める。

ウ 職員のスキルアップを図るため、資格取得及び各種専門研修への参加や園内研修の充実を図り職員の専門性を高める。

(5) 経営の効率化

ア 全職員が原材料や諸経費を意識することにより、健全な経営体質を確保する。SNSやホームページを活用し情報公開・PRを行い、収入アップを図る。

イ 特別支援学校・医療機関・相談支援事業所と連携を図り、地域における在宅障がい者の見学・体験利用を積極的に受入れ新規通所利用者の確保に努め、もって稼働率アップを目指す。

[目標稼働率：就労継続支援B型80%、生活介護：85%、施設入所支援：100%、短期入所35%]

(6) 地域貢献・地域共生社会に向けた取組

ア 地域住民との交流を模索し、アート作品の貸し出し展示、イベント時の菓子・パンの販売など地域共生を踏まえた活動を積極的に行う。

イ 地域の清掃活動などへ参加し、美化活動等の社会貢献に寄与する。

ウ 当施設が持つ人材や設備等の資源を活用し、地域ニーズに応じた活動を行う。

(菓子・パン教室、自閉症・発達障がい等に関する地域相談 等)